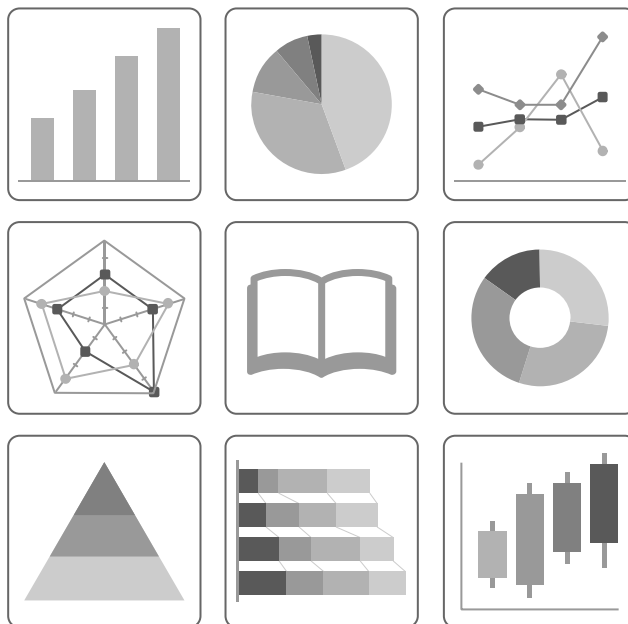


加賀市
子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書
(抜粋版)



加 賀 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
1	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	2
2	子どもの育ちをめぐる環境について	13
3	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	14
4	宛名のお子さんの平日の定期的な保育・教育事業の利用状況について	19
5	宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	25
6	宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇の「定期的」な 保育・教育事業の利用希望について	27
7	宛名のお子さんの放課後の過ごし方について	28
8	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	32
9	子育てに関する意識等について	38

I 調査の概要

1 調査の目的

このたび、現計画に各こども施策に関する計画を包含した「加賀市こども計画（令和7年度～令和11年度）」を策定するにあたり、市民の教育・保育・子育て支援に関する事業の利用状況や希望を把握し、必要とされる支援を計画に盛り込むため、市内の小学生及び保育園・認定こども園に通われている児童の保護者を対象にニーズ調査を実施することといたしました。

2 調査対象

市内の小学生及び保育園・認定こども園に通われている児童の保護者

3 調査期間

令和6年3月7日から令和6年3月20日

4 調査方法

郵送による配布・郵送またはインターネットによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
未就学児保護者	通	797通	%
小学生保護者	通	812通	%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

1 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

お住まいの小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

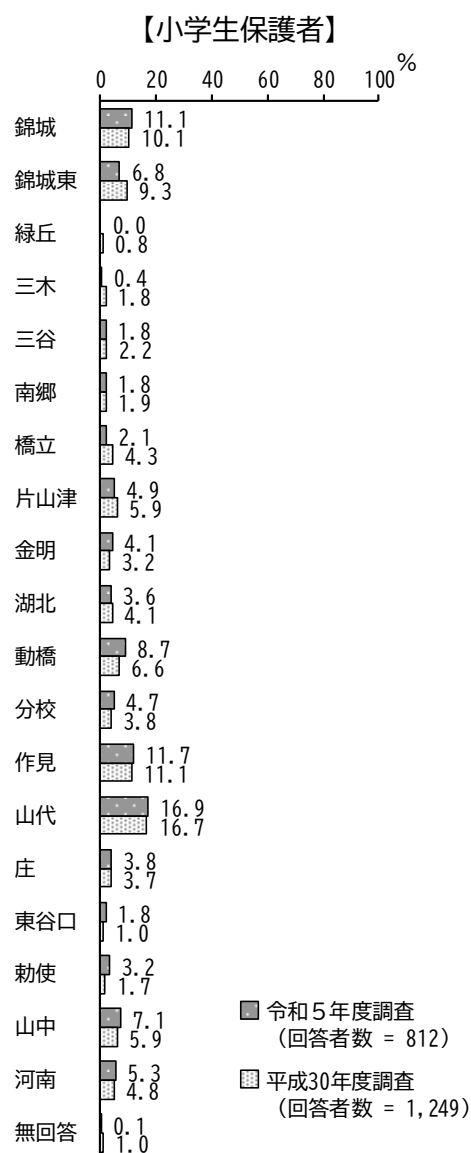
(未就学児保護者：問1、小学生保護者：問1)

未就学児保護者では、「山代」の割合が20.7%と最も高く、次いで「作見」の割合が12.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「山代」の割合が16.9%と最も高く、次いで「作見」の割合が11.7%、「錦城」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



宛名のお子さんの生年月を口内に数字（1 枠に 1 字）で記入してください。

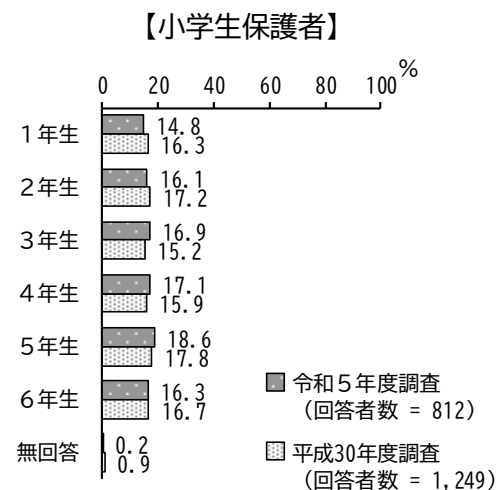
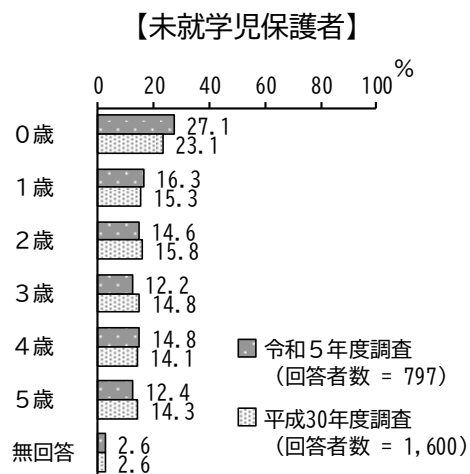
（未就学児保護者：問 2、小学生保護者：問 2）

未就学児保護者では、「0 歳」の割合が 27.1%と最も高く、次いで「1 歳」の割合が 16.3%、「4 歳」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「5 年生」の割合が 18.6%と最も高く、次いで「4 年生」の割合が 17.1%、「3 年生」の割合が 16.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



宛名のお子さんを含めて、あなたのお子さんは何人いらっしゃいますか。それぞれのお子さんの生年月も合わせて口内に数字（1 枠に 1 字）で記入してください。

（未就学児保護者：問3、小学生保護者：問3）

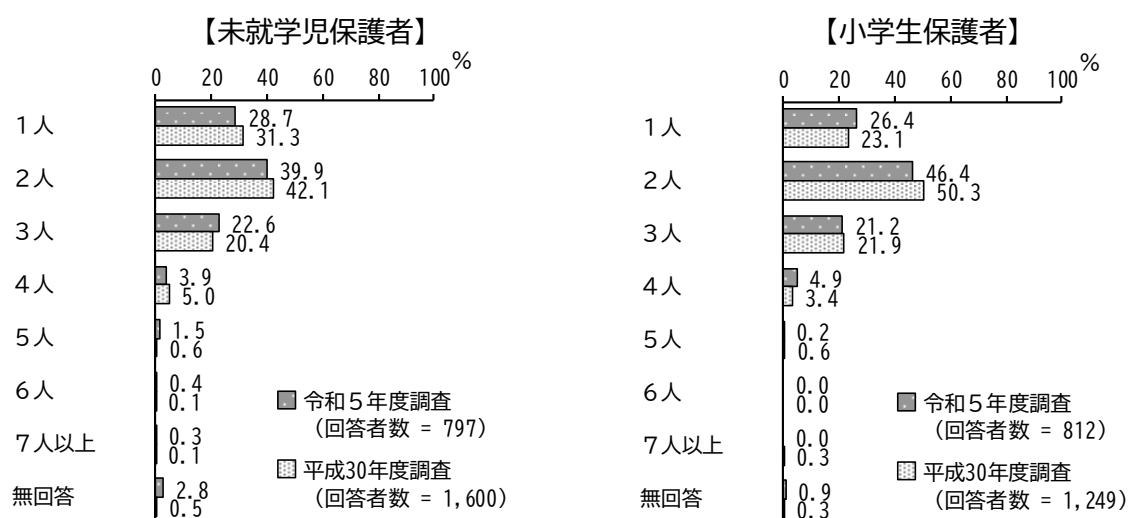
お子さんの数

未就学児童保護者では、「2 人」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「1 人」の割合が 28.7%、「3 人」の割合が 22.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「2 人」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「1 人」の割合が 26.4%、「3 人」の割合が 21.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



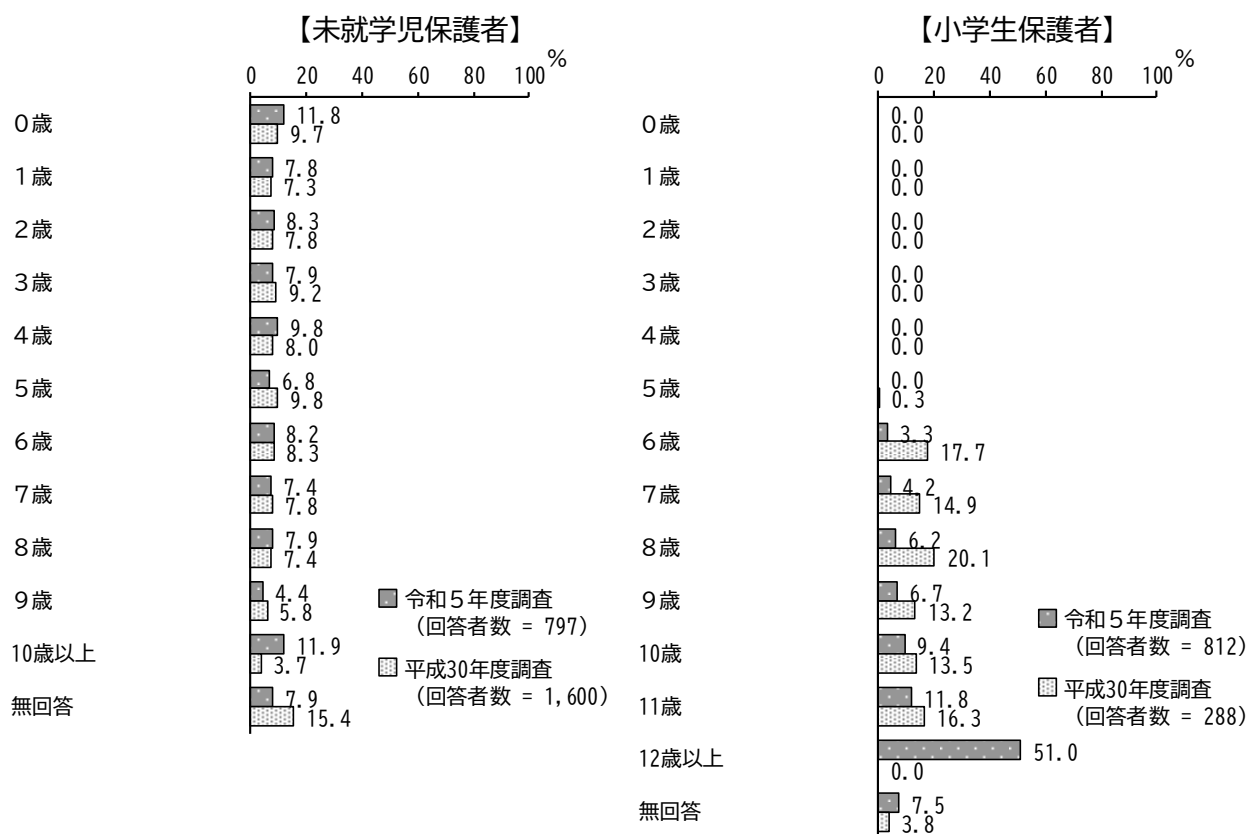
1 番上の子の年齢

未就学児保護者では、「10 歳以上」の割合が 11.9%と最も高く、次いで「0 歳」の割合が 11.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「10 歳以上」の割合が増加しています。

小学生保護者では、「12 歳以上」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「11 歳」の割合が 11.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「12 歳以上」の割合が増加しています。一方、「6 歳」「7 歳」「8 歳」「9 歳」の割合が減少しています。



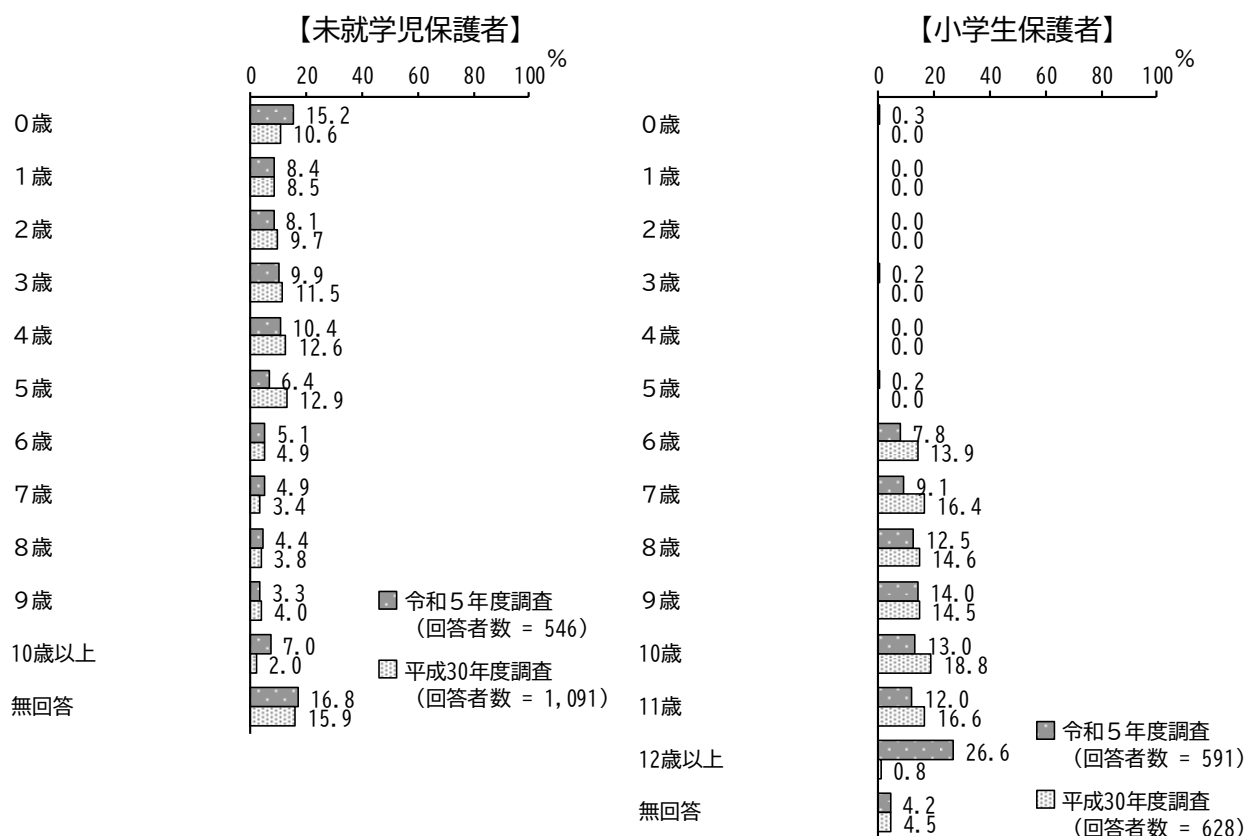
上から2番目の子の年齢

未就学児保護者では、「0歳」の割合が15.2%と最も高く、次いで「4歳」の割合が10.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5歳」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「12歳以上」の割合が26.6%と最も高く、次いで「9歳」の割合が14.0%、「10歳」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12歳以上」の割合が増加しています。一方、「6歳」「7歳」「10歳」の割合が減少しています。



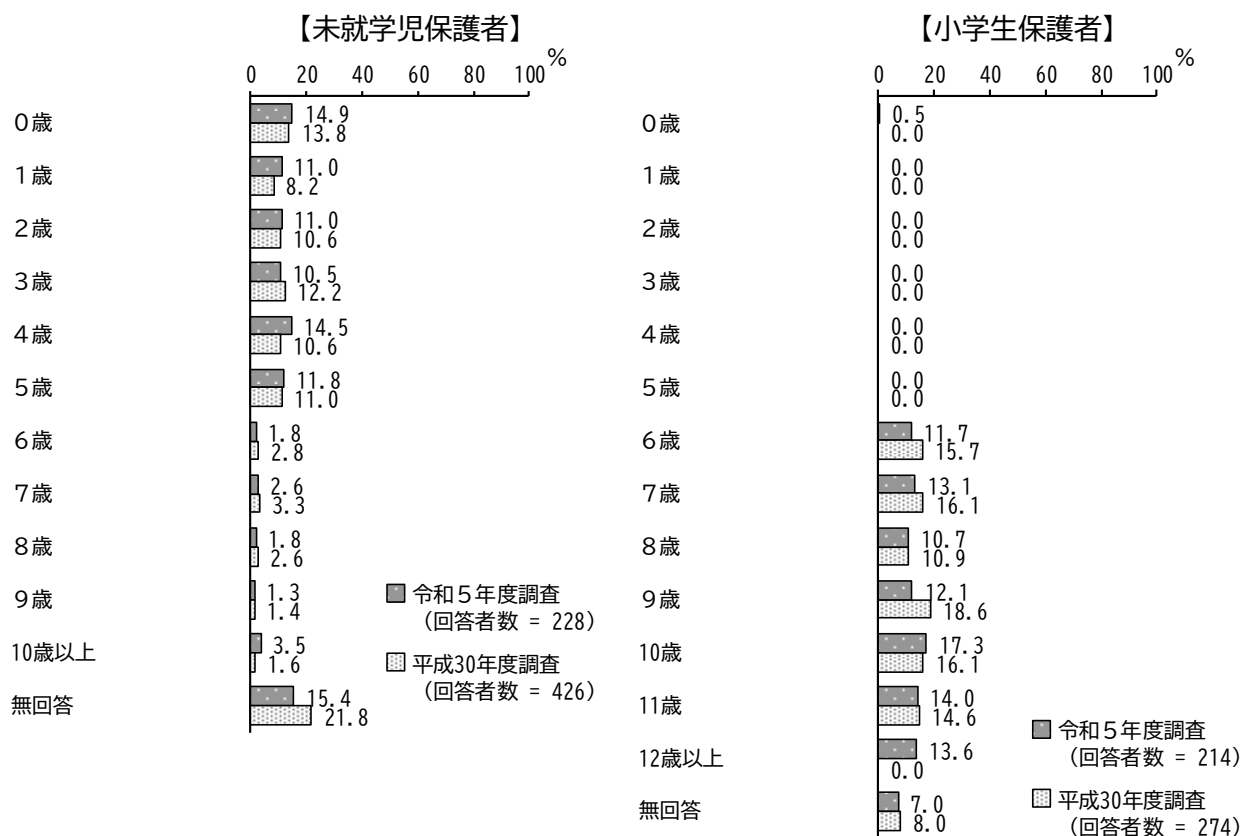
上から3番目の子の年齢

未就学児保護者では、「0歳」の割合が14.9%と最も高く、次いで「4歳」の割合が14.5%、「5歳」の割合が11.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「10歳」の割合が17.3%と最も高く、次いで「11歳」の割合が14.0%、「12歳以上」の割合が13.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12歳以上」の割合が増加しています。一方、「9歳」の割合が減少しています。



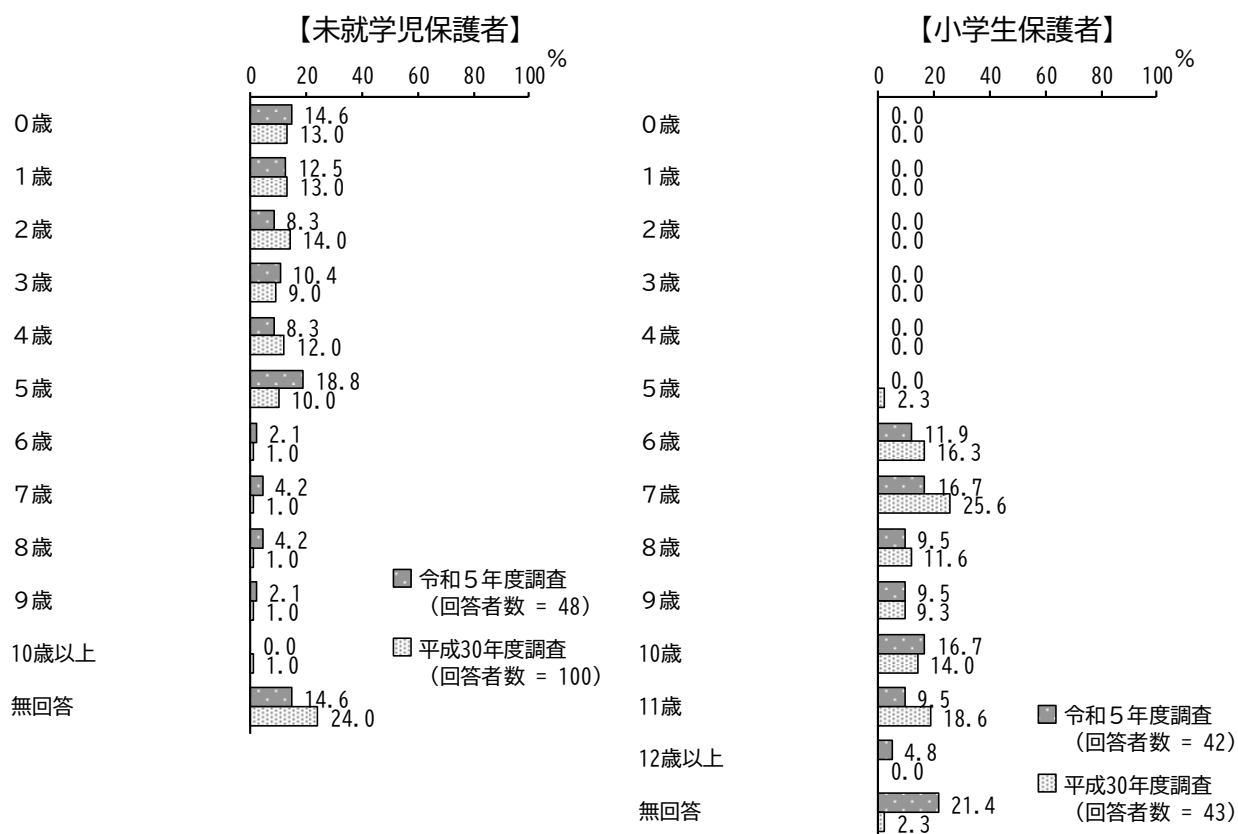
上から4番目の子の年齢

未就学児保護者では、「5歳」の割合が18.8%と最も高く、次いで「0歳」の割合が14.6%、「1歳」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5歳」の割合が増加しています。一方、「2歳」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「7歳」「10歳」の割合が16.7%と最も高く、次いで「6歳」の割合が11.9%となっています。

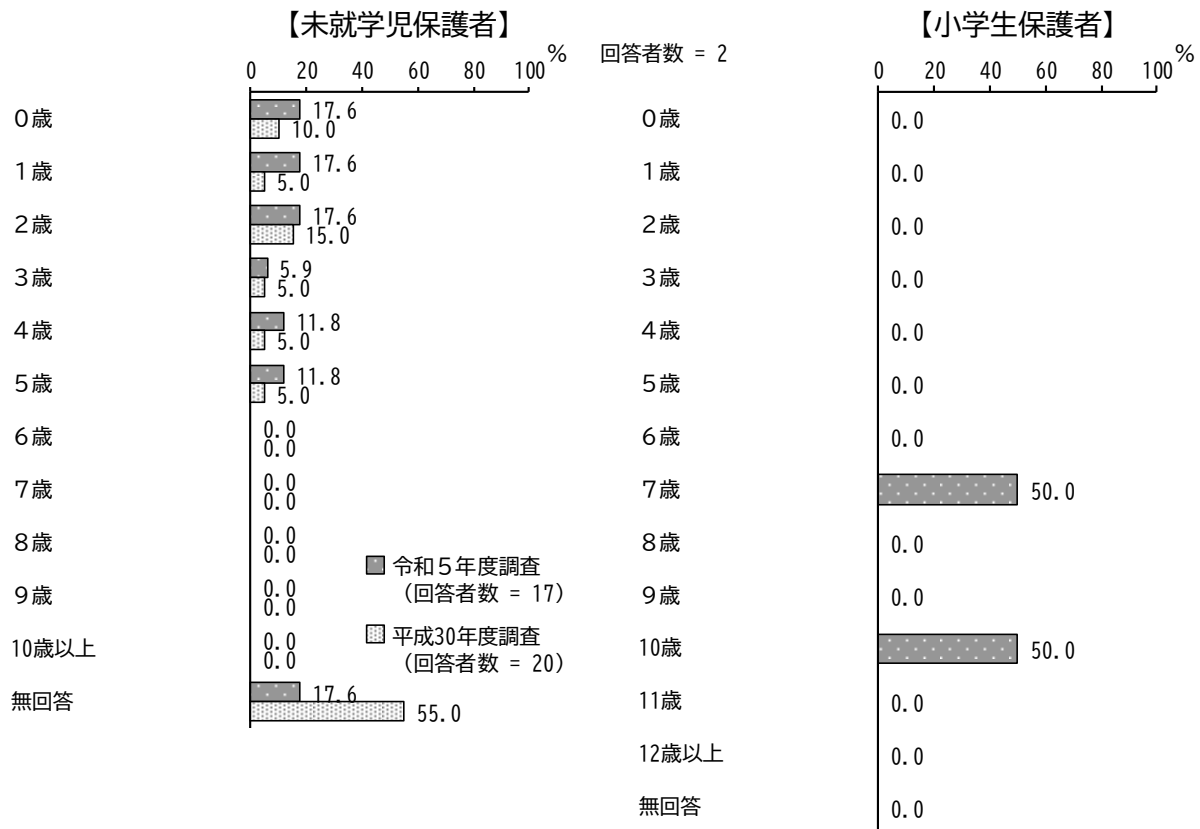
平成30年度調査と比較すると、「7歳」「11歳」の割合が減少しています。



上から5番目の子の年齢

未就学児保護者では、「0歳」、「1歳」、「2歳」の割合が17.6%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、「0歳」「1歳」「4歳」「5歳」の割合が増加しています。

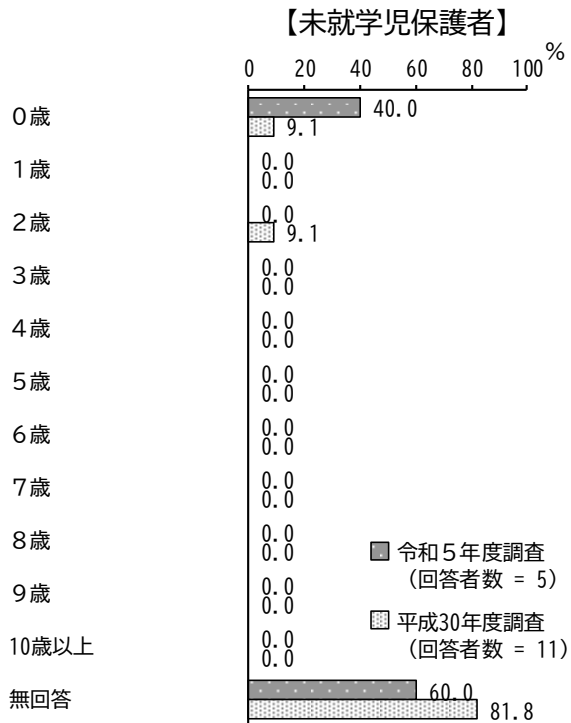
小学生保護者では、「7歳」、「10歳」が1件となっています。



上から6番目の子の年齢

未就学児保護者では、「0歳」が2件となっています。

小学生保護者では、有効回答がありませんでした。



上から7番目の子の年齢

未就学児保護者、小学生保護者ともに、有効回答がありませんでした。

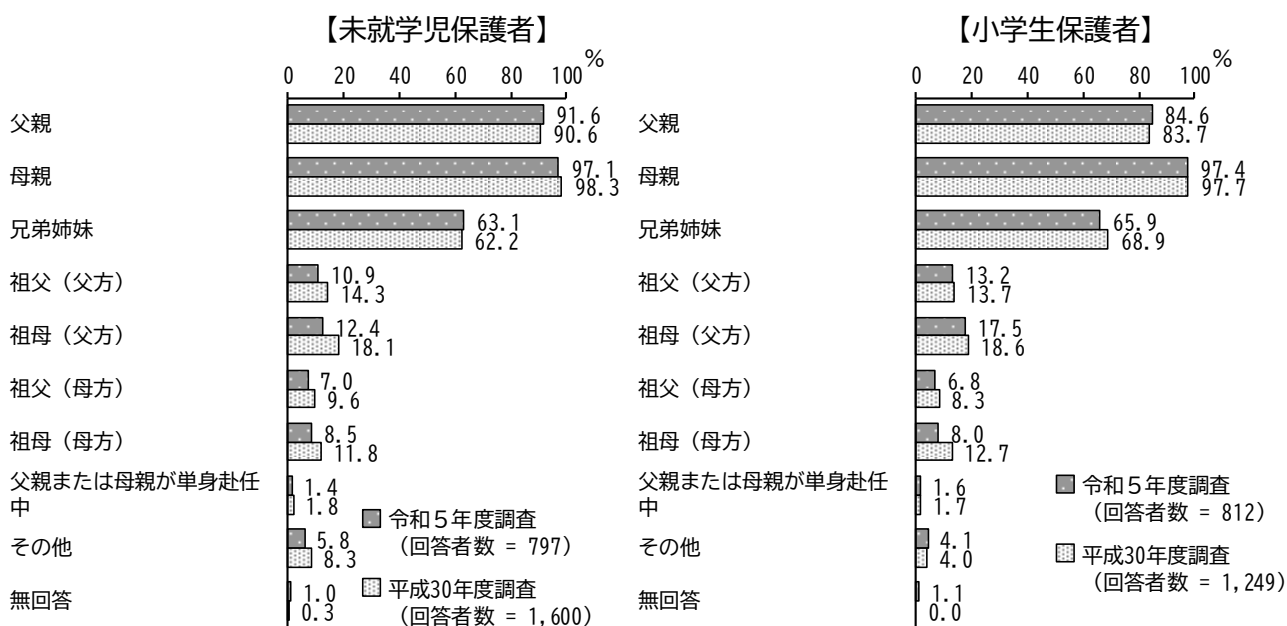
宛名のお子さんからみた世帯構成について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(未就学児保護者：問4、小学生保護者：問4)

未就学児保護者では、「母親」の割合が 97.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が 91.6%、「兄弟姉妹」の割合が 63.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「祖母（父方）」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「母親」の割合が 97.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が 84.6%、「兄弟姉妹」の割合が 65.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

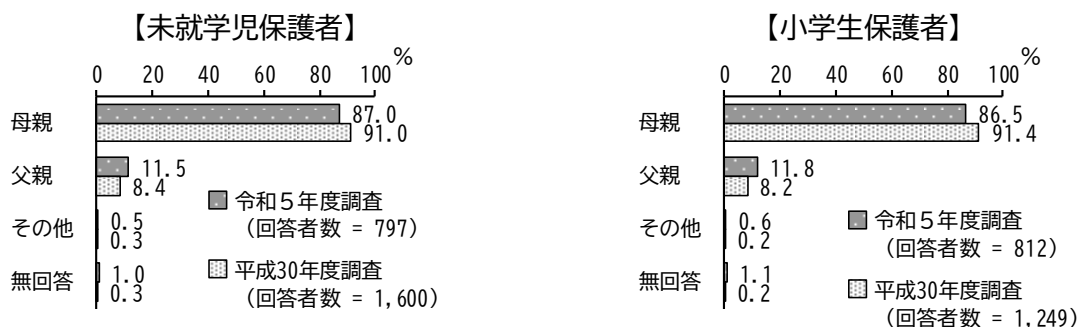
(未就学児保護者：問5、小学生保護者：問5)

未就学児保護者では、「母親」の割合が 87.0%、「父親」の割合が 11.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「母親」の割合が 86.5%、「父親」の割合が 11.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。※配偶者とは結婚している相手方のことをいいます。

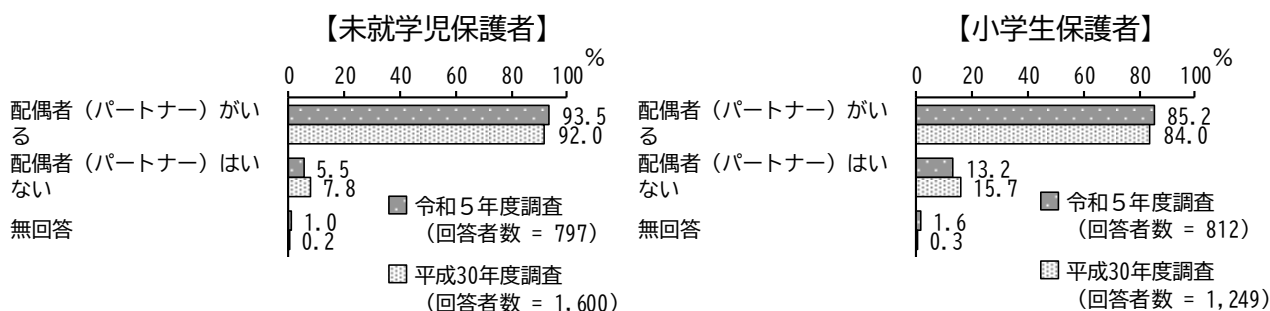
(未就学児保護者：問6、小学生保護者：問6)

未就学児保護者では、「配偶者（パートナー）がいる」の割合が93.5%、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が5.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「配偶者（パートナー）がいる」の割合が85.2%、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が13.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

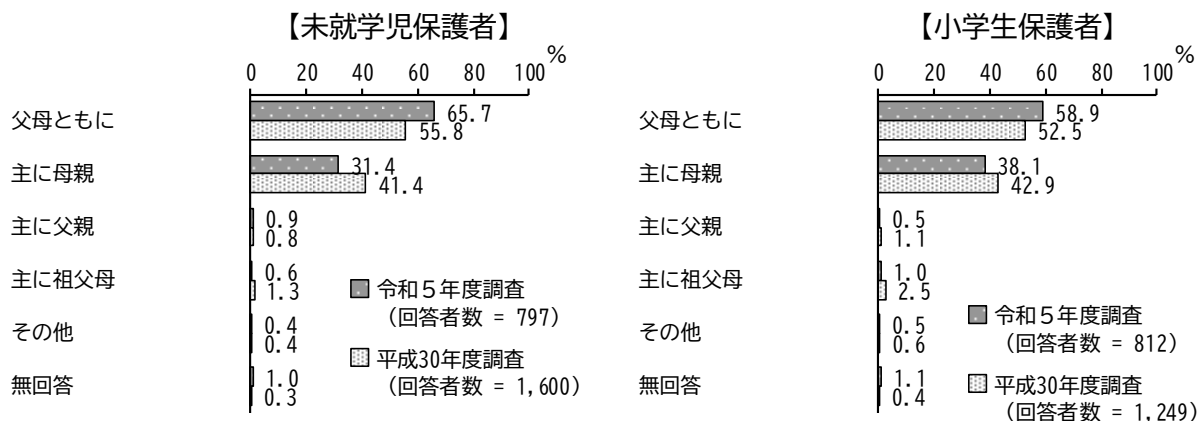
(未就学児保護者：問7、小学生保護者：問6)

未就学児保護者では、「父母ともに」の割合が65.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が31.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「父母ともに」の割合が58.9%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が38.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。ある場合は、相談先は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

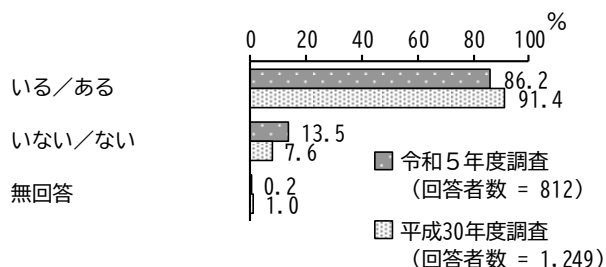
（小学生保護者：問 10）

相談先の有無【1つ選択】

小学生保護者では、「いる／ある」の割合が86.2%、「いない／ない」の割合が13.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「いない／ない」の割合が増加しています。一方、「いる／ある」の割合が減少しています。

【未就学児保護者】

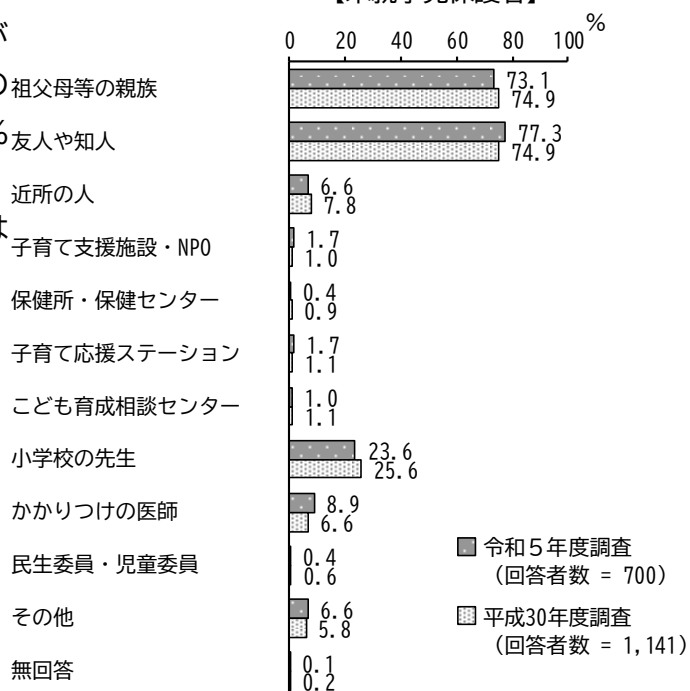


相談相手（場所）【複数選択可】

小学生保護者では、「友人や知人」の割合が77.3%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が73.1%、「小学校の先生」の割合が23.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児保護者】



3 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

母親の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。時間は、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制で□内に数字（1 枠に 1 字）を記入してください。

※母子家庭、父子家庭の場合は、母親または父親の該当箇所のみお答えください。

(未就学児保護者：問 11、小学生保護者：問 11)

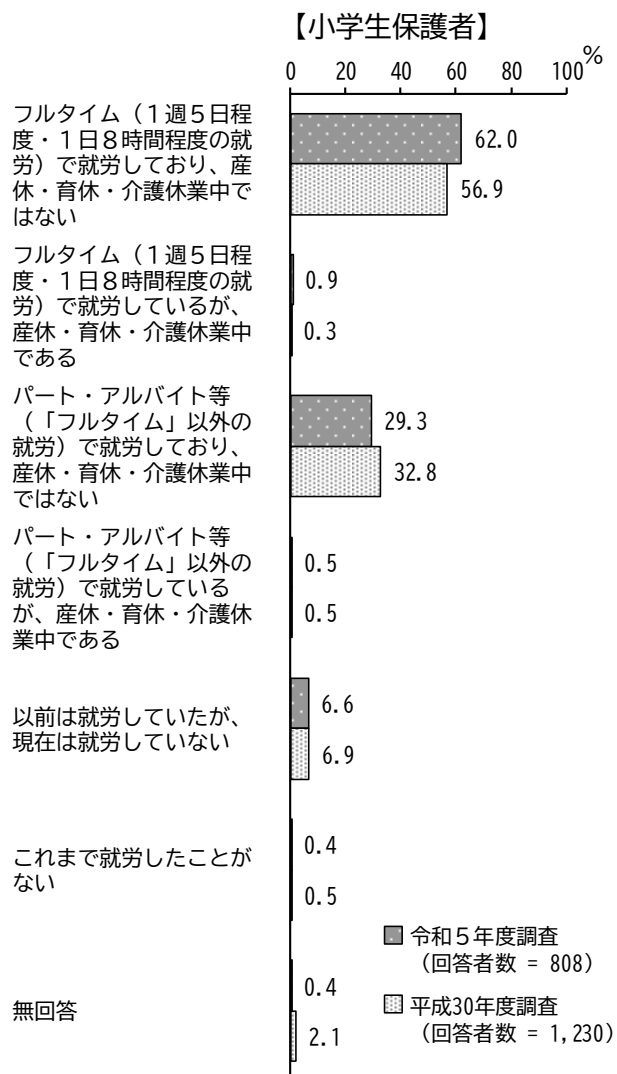
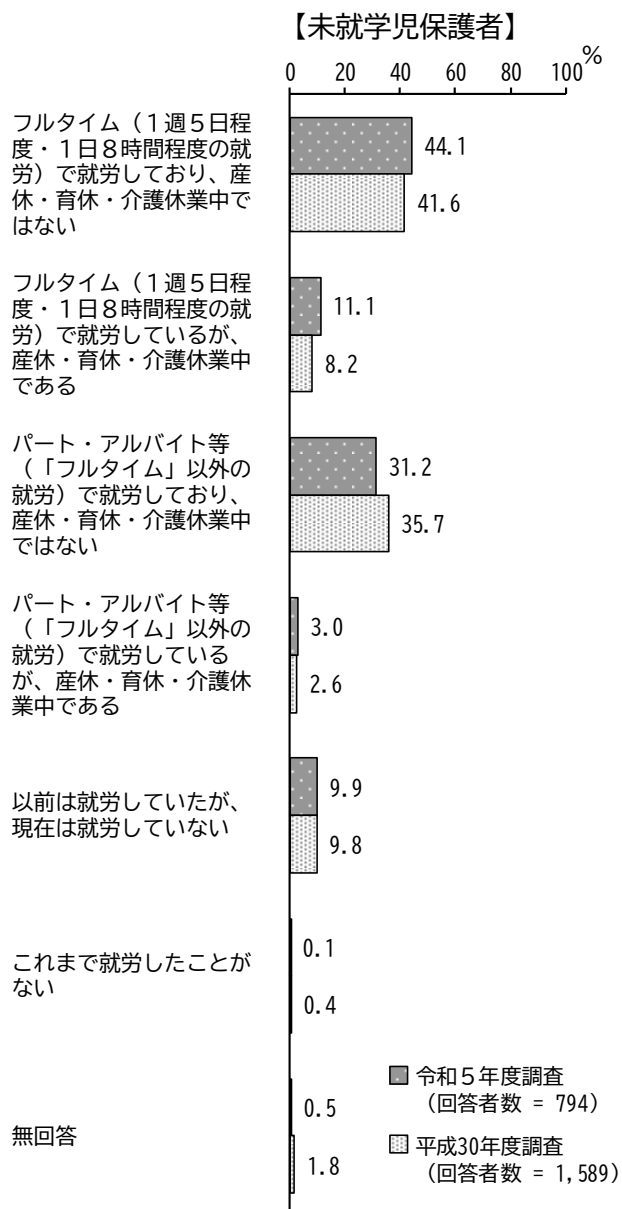
母親の就労状況【1つ選択】

未就学児保護者では、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 31.2%、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が 11.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 29.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



就労日数・就労時間【数字を記入】

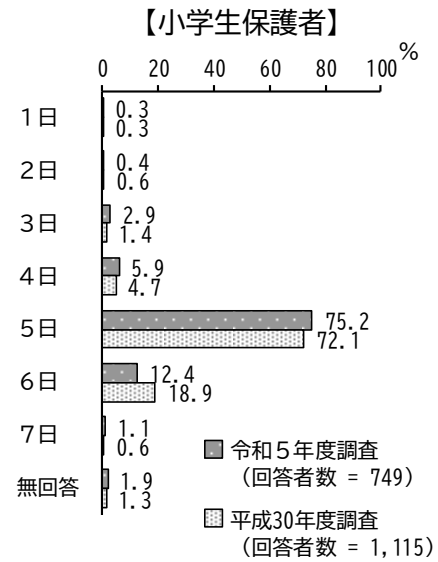
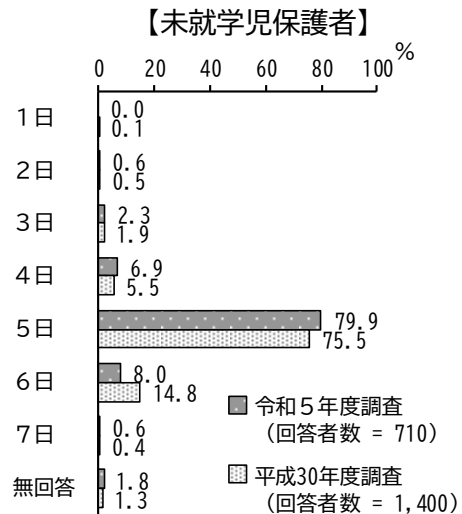
1週当たりの就労日数

未就学児保護者では、「5日」の割合が79.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「6日」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「5日」の割合が75.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が12.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6日」の割合が減少しています。



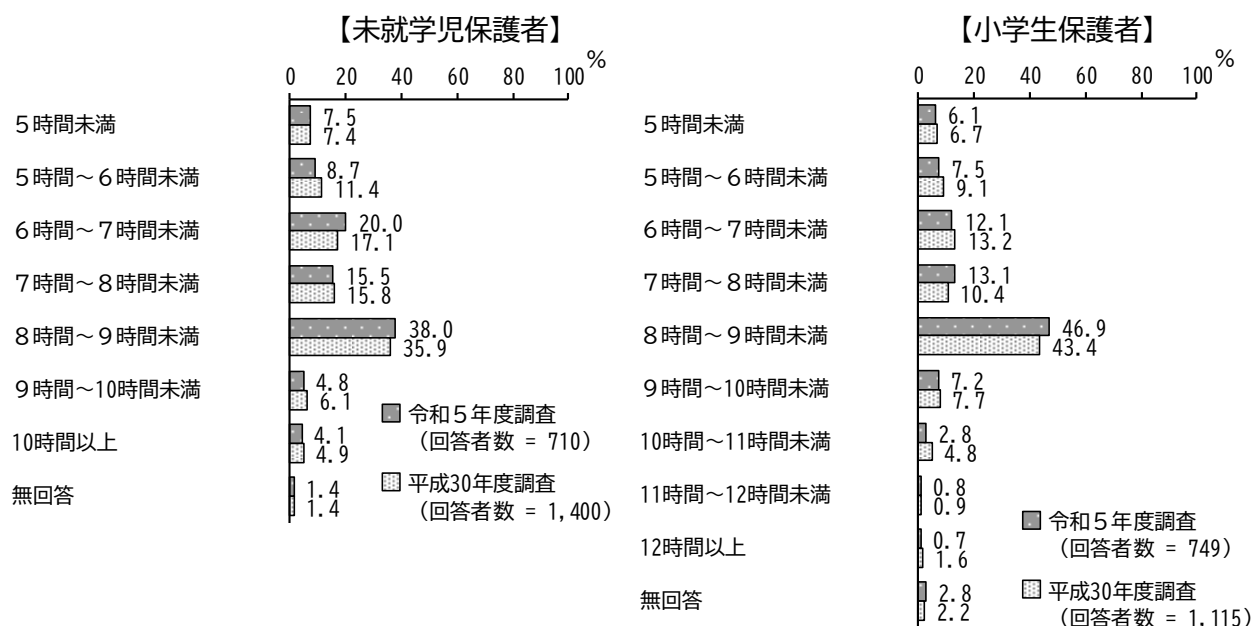
1日当たりの就労時間

未就学児保護者では、「8時間～9時間未満」の割合が38.0%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が20.0%、「7時間～8時間未満」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「8時間～9時間未満」の割合が46.9%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が13.1%、「6時間～7時間未満」の割合が12.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



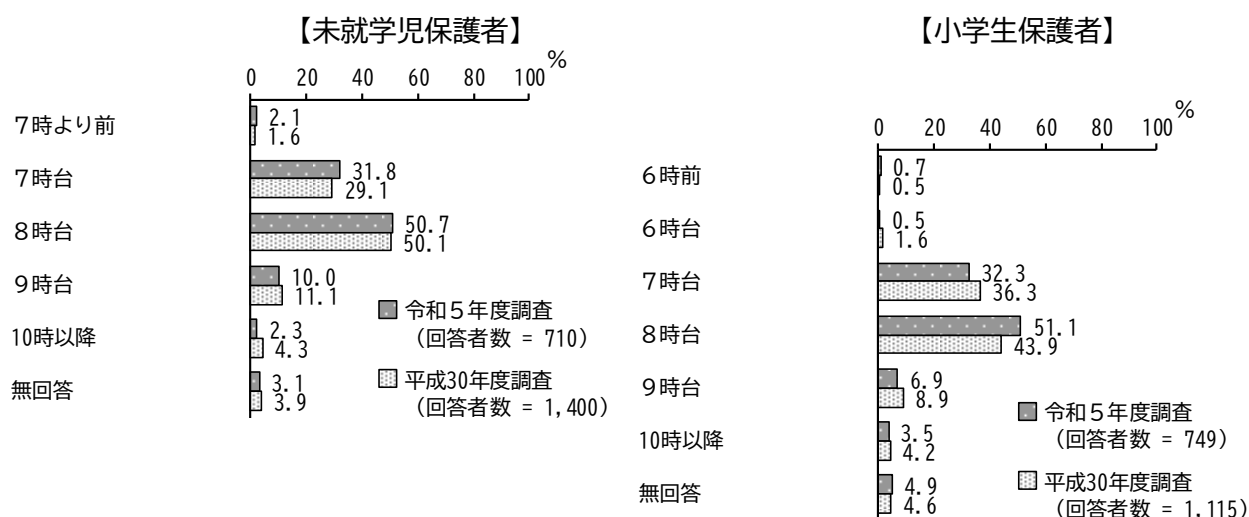
家を出る時間

未就学児保護者では、「8時台」の割合が50.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が31.8%、「9時台」の割合が10.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「8時台」の割合が51.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が32.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。



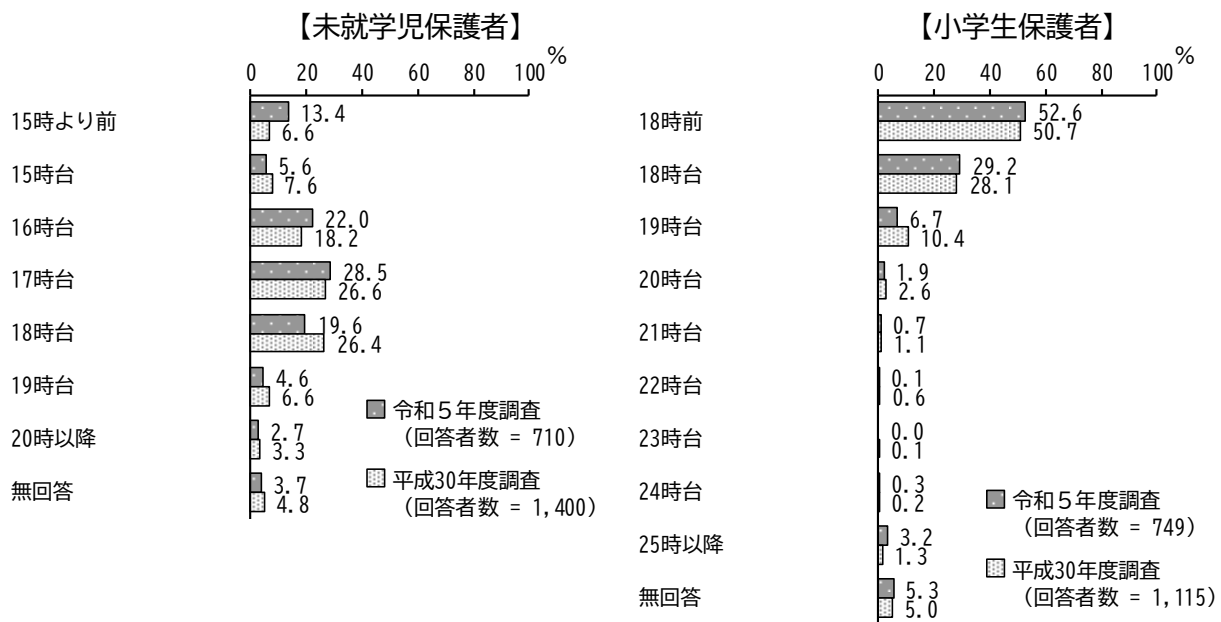
帰宅時間

未就学児保護者では、「17 時台」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 22.0%、「18 時台」の割合が 19.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「15 時より前」の割合が増加しています。一方、「18 時台」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「18 時前」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 29.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



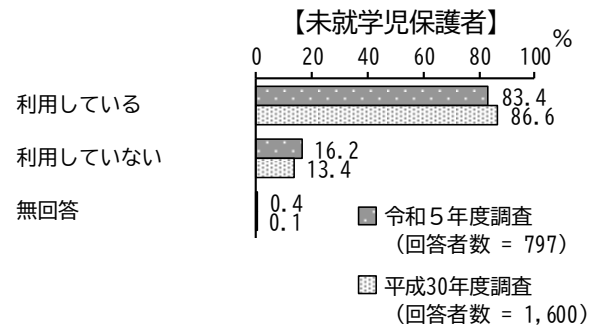
4 宛名のお子さんの平日の定期的な保育・教育事業の利用状況について

宛名のお子さんは現在、保育園、認定こども園、幼稚園など（問 13－1 に示した事業）を月単位で定期的に利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（未就学児保護者：問 13）

未就学児保護者では、「利用している」の割合が 83.4%、「利用していない」の割合が 16.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



宛名のお子さんは、平日どのような保育・教育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

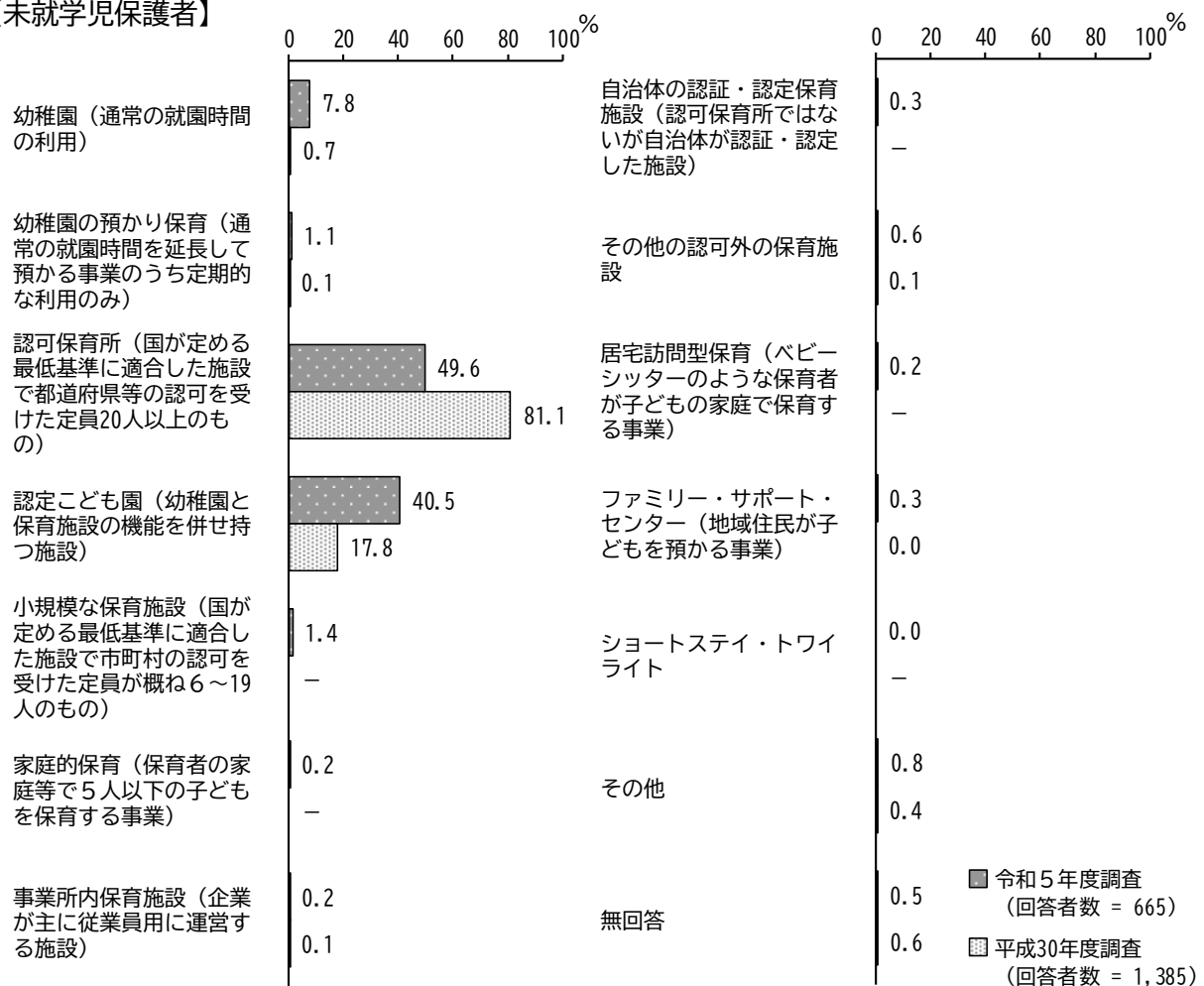
※平日に保育・教育事業を利用している人のみ

(未就学児保護者：問 13－1)

未就学児保護者では、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が 40.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が増加しています。一方、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が減少しています。

【未就学児保護者】



※前回調査では、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の選択肢が「保育園」でした。

※前回調査では、「小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの）」「家庭的保育（保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業）」「自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）」「居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」「ショートステイ・トワイライト」の選択肢はありませんでした。

【未就学児保護者：子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、3歳で「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」の割合が高くなっています。

単位：％

未就学児 保護者	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	シヨートステイ・トワイライト	その他	無回答
全 体	665	7.8	1.1	49.6	40.5	1.4	0.2	0.2	0.3	0.6	0.2	0.3	—	0.8	0.5
0歳	100	9.0	—	43.0	45.0	1.0	—	—	1.0	—	1.0	1.0	—	2.0	2.0
1歳	122	8.2	—	50.0	40.2	0.8	—	0.8	—	—	—	0.8	—	—	—
2歳	116	7.8	0.9	51.7	38.8	2.6	—	—	—	0.9	—	—	—	—	—
3歳	95	5.3	3.2	54.7	37.9	1.1	—	—	—	—	—	—	—	2.1	1.1
4歳	116	6.0	—	53.4	39.7	0.9	0.9	—	0.9	1.7	—	—	—	—	—
5歳	98	8.2	3.1	46.9	40.8	2.0	—	—	—	1.0	—	—	—	1.0	—

【未就学児保護者：母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が高くなっています。

単位：％

【未就学児保護者】	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
全 体	662	7.7	1.1	49.5	40.6	1.4	0.2	0.2
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	344	8.1	1.2	48.0	43.3	0.3	0.3	—
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	21	4.8	—	42.9	52.4	—	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	242	7.0	0.4	53.7	36.0	2.1	—	0.4
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	11	9.1	9.1	54.5	27.3	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	39	10.3	2.6	43.6	38.5	7.7	—	—
これまで就労したことがない	1	—	—	—	100.0	—	—	—

単位：％

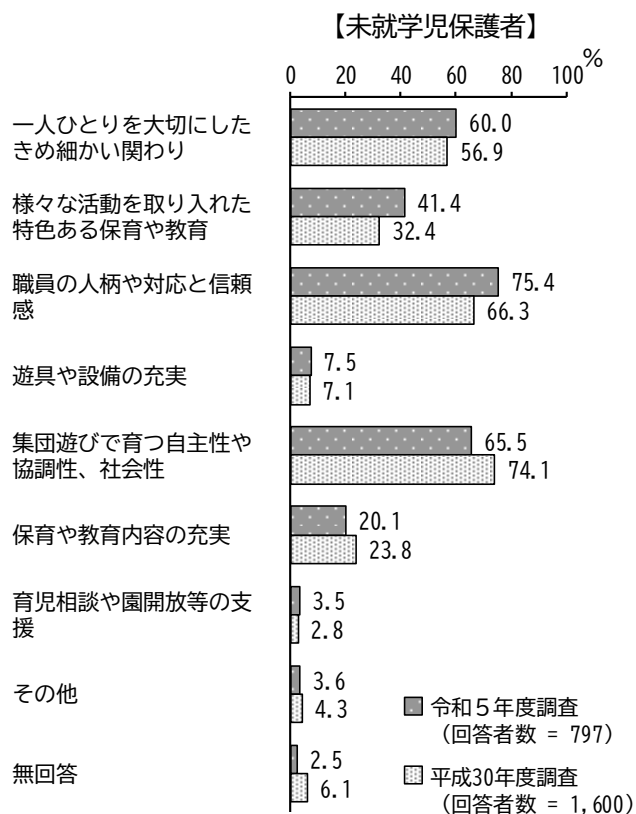
区分	自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが自 治体が認証・認定した施設)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育(ベビシッ タールのような保育者が子ど もの家庭で保育する事業)	ファミリー・サポート・セン ター(地域住民が子どもを預 かる事業)	ショートステイ・トワイライ ト	その他	無回 答
全 体	0.3	0.6	0.2	0.3	－	0.8	0.5
フルタイム(1週 5日程度・1日8 時間程度の就労) で就労しており、 産休・育休・介護 休業中ではない	－	0.6	0.3	0.3	－	0.9	0.6
フルタイム(1週 5日程度・1日8 時間程度の就労) で就労している が、産休・育休・ 介護休業中である	－	－	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等(「フルタイ ム」以外の就労) で就労しており、 産休・育休・介護 休業中ではない	0.4	0.8	－	0.4	－	0.8	－
パート・アルバイト等(「フルタイ ム」以外の就労) で就労している が、産休・育休・ 介護休業中である	－	－	－	－	－	－	9.1
以前は就労してい たが、現在は就労 していない	2.6	－	－	－	－	－	－
これまで就労した ことがない	－	－	－	－	－	－	－

(前ページの表 続き)

保育・教育の事業に何を求めますか。当てはまるものに3つまで○をつけてください。
(未就学児保護者：問 16)

未就学児保護者では、「職員の人柄や対応と信頼感」の割合が75.4%と最も高く、次いで「集団遊びで育つ自主性や協調性、社会性」の割合が65.5%、「一人ひとりを大切にしたいきめ細かい関わり」の割合が60.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「様々な活動を取り入れた特色ある保育や教育」「職員の人柄や対応と信頼感」の割合が増加しています。一方、「集団遊びで育つ自主性や協調性、社会性」の割合が減少しています。

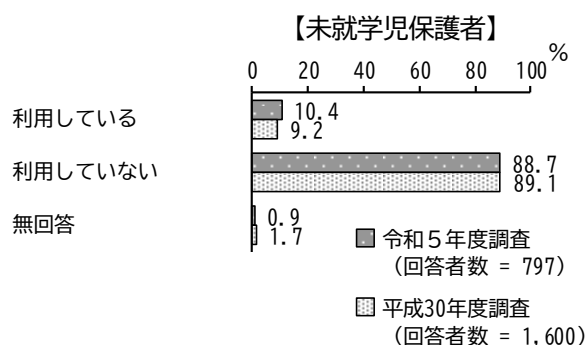


5 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

宛名のお子さんは、現在、「つどいの広場」や「子育て支援センター」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、子育て情報を受けたりする場）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字（1枠に1字）で記入してください。（未就学児保護者：問17）

未就学児保護者では、「利用している」の割合が10.4%、「利用していない」の割合が88.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「利用している」の割合が高くなっています。

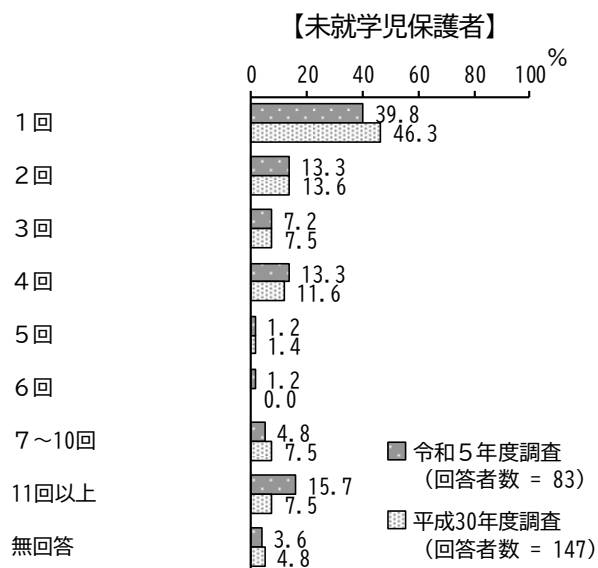
単位：％

区分	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答
全 体	797	10.4	88.7	0.9
0 歳	216	23.1	75.5	1.4
1 歳	130	7.7	91.5	0.8
2 歳	116	3.4	95.7	0.9
3 歳	97	6.2	92.8	1.0
4 歳	118	3.4	96.6	—
5 歳	99	6.1	92.9	1.0

1 ヶ月当たりの利用回数

未就学児保護者では、「1 回」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「11 回以上」の割合が 15.7%、「2 回」、「4 回」の割合が 13.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「11 回以上」の割合が増加しています。一方、「1 回」の割合が減少しています。



6 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇の「定期的」な保育・教育事業の利用希望について

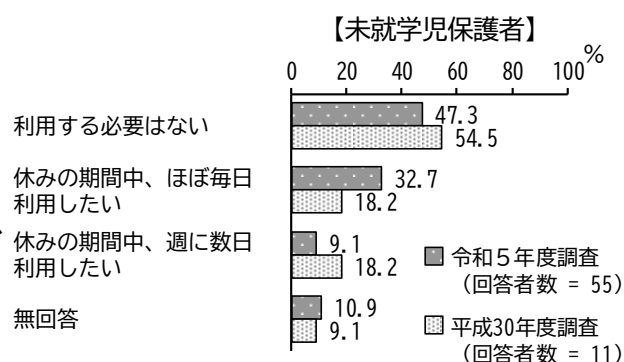
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の保育・教育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。利用を希望する（「2」または「3」）の場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制で□内に数字（1枠に1字）で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※「幼稚園」を利用されている方のみ

（未就学児保護者：問21）

未就学児保護者では、「利用する必要はない」の割合が47.3%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が32.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が減少しています。

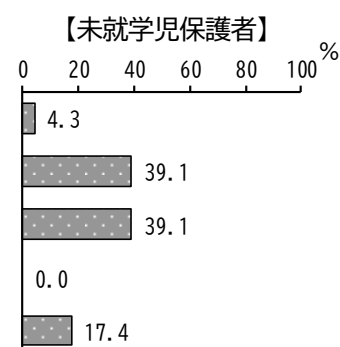


利用開始時刻

未就学児保護者では、「8時台」「9時台」の割合が39.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 23

8時より前
8時台
9時台
10時以降
無回答

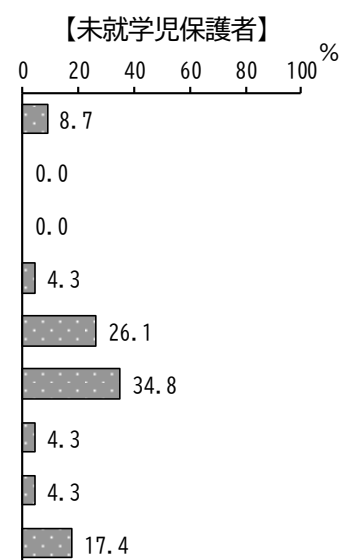


利用終了時刻

未就学児保護者では、「17時台」の割合が34.8%と最も高く、次いで「16時台」の割合が26.1%となっています。

回答者数 = 23

13時より前
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時以降
無回答



7 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字（1枠に1字）で記入してください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字（1枠に1字）で記入してください。時間は（例）09時～18時のように24時間制で記入してください。

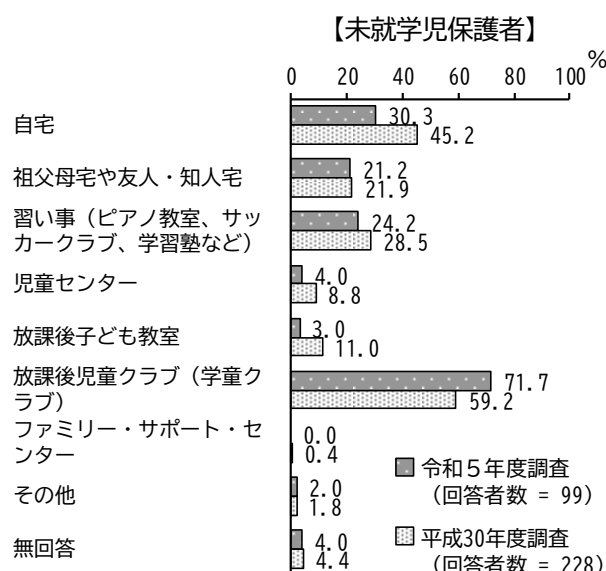
※宛名のお子さんが5歳以上の方のみ

（未就学児保護者：問26）

希望する場所【複数選択可】

未就学児保護者では、「放課後児童クラブ（学童クラブ）」の割合が71.7%と最も高く、次いで「自宅」の割合が30.3%、「習い事（ピアノ教室、サッカー клуб、学習塾など）」の割合が24.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童クラブ）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「放課後子ども教室」の割合が減少しています。

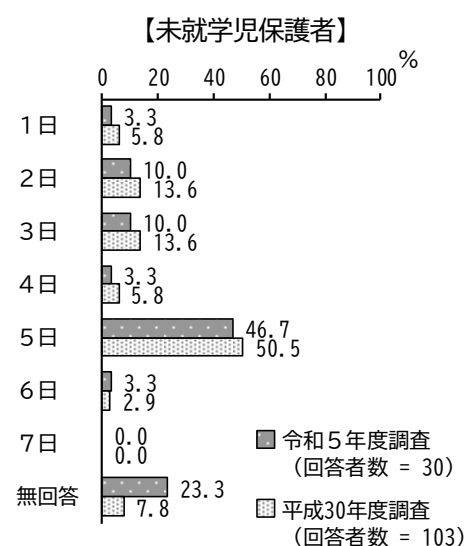


週当たりの希望日数【数字を記入】

1. 自宅の日数

未就学児保護者では、「5日」の割合が46.7%と最も高く、次いで「2日」「3日」の割合が10.0%となっています。

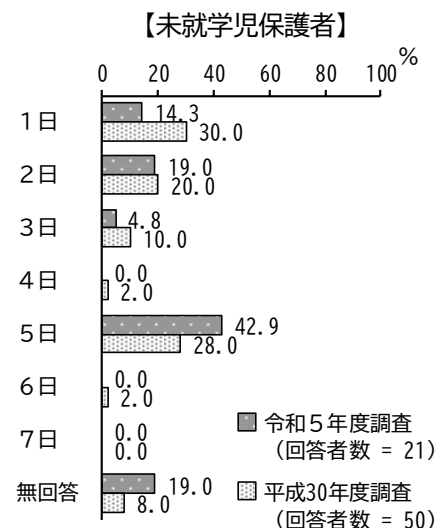
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

未就学児保護者では、「5日」の割合が42.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.0%、「1日」の割合が14.3%となっています。

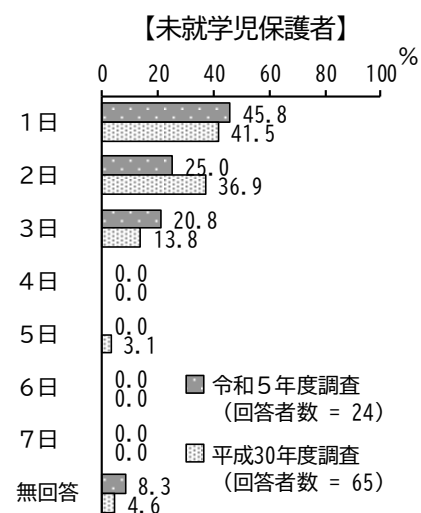
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「3日」の割合が減少しています。



3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数

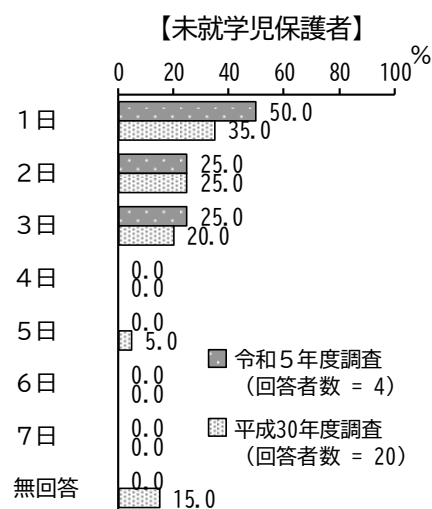
未就学児保護者では、「1日」の割合が45.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.0%、「3日」の割合が20.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



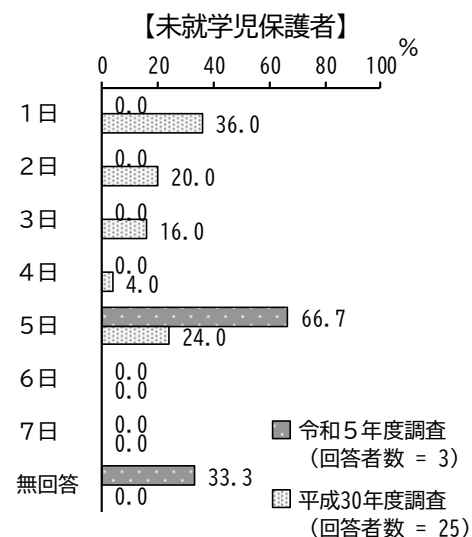
4. 児童センターの日数

未就学児保護者では、「1日」が2件となっていて、「2日」「3日」が1件となっています。



5. 放課後子ども教室の日数

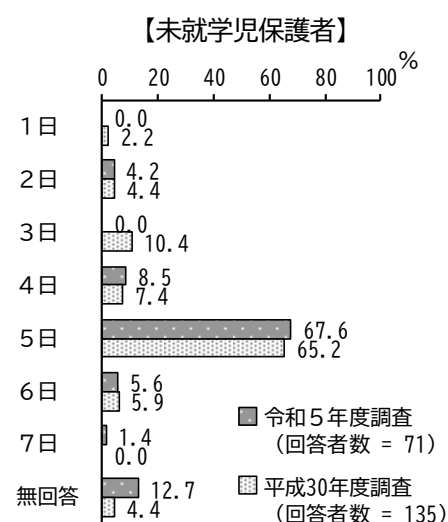
未就学児保護者では、「5日」が2件となっています。



6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）の日数

未就学児保護者では、「5日」の割合が 67.6% と最も高くなっています。

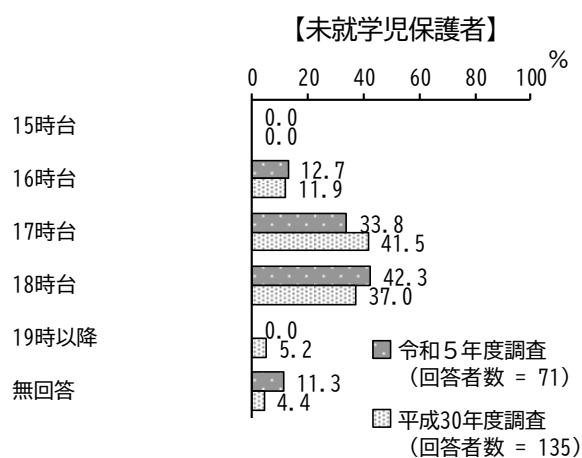
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」の割合が減少しています。



希望利用終了時刻

未就学児保護者では、「18 時台」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 33.8%、「16 時台」の割合が 12.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」「19 時以降」の割合が減少しています。

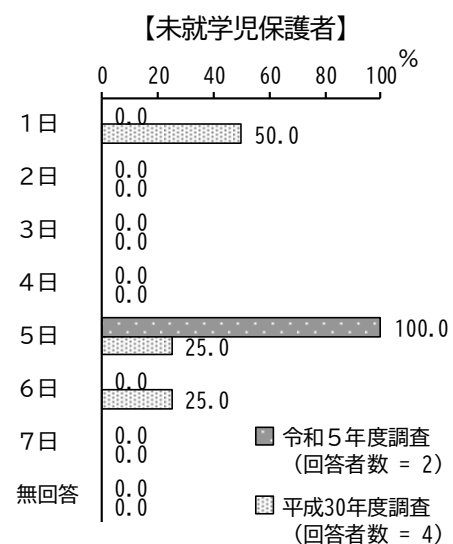


7. ファミリー・サポート・センターの日数

未就学児保護者では、有効回答がありませんでした。

8. その他の日数

未就学児保護者では、「5日」が2件となっています。



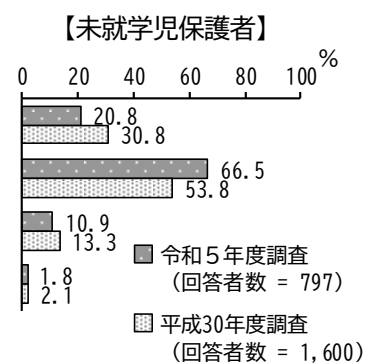
8 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3. 取得していない」場合は、その理由に当てはまる番号を下欄から選び、〔 〕内に数字で記入してください。
(未就学児保護者：問 29)

母親【1つ選択】

未就学児保護者では、「取得した（取得中である）」の割合が66.5%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が20.8%、「取得していない」の割合が10.9%となっています。

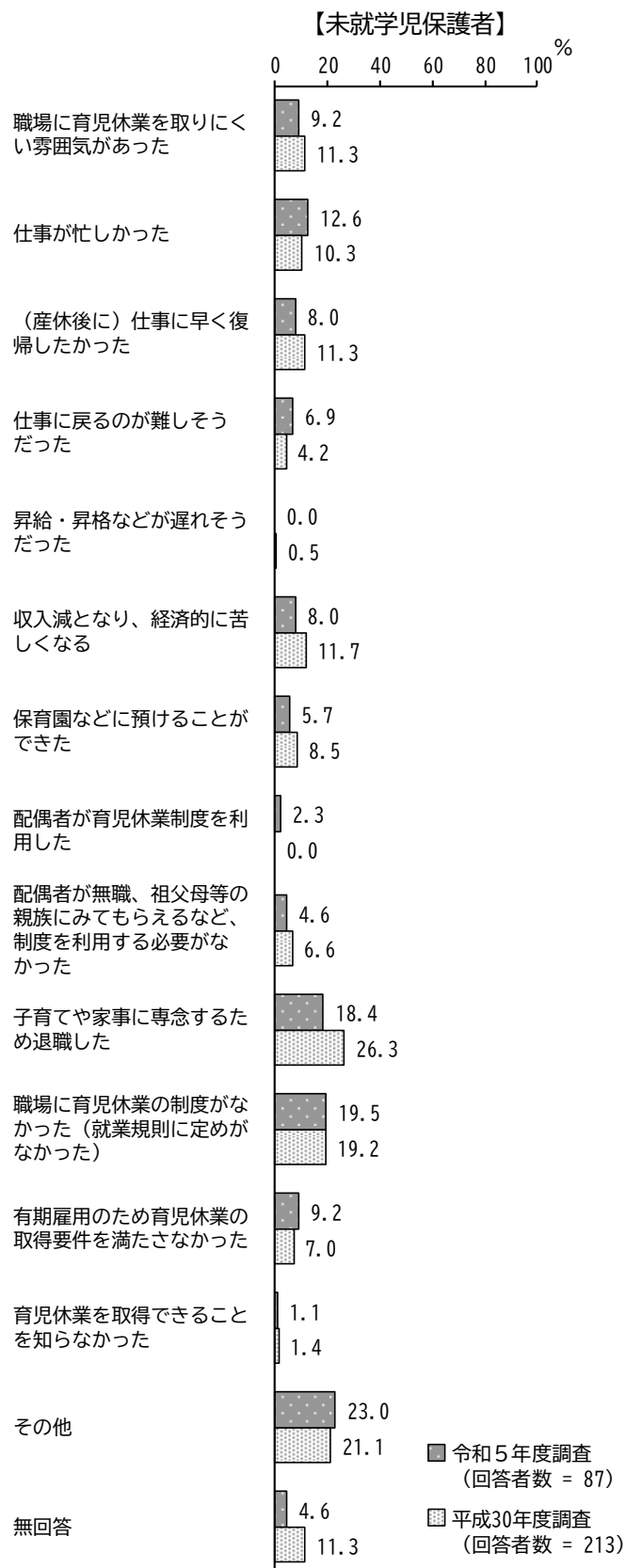
平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得していない理由（下から当てはまる番号をすべて選んで記入してください）

未就学児保護者では、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が19.5%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が18.4%、「仕事が忙しかった」の割合が12.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少しています。



父親【1つ選択】

未就学児保護者では、「取得していない」の割合が81.7%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が12.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。

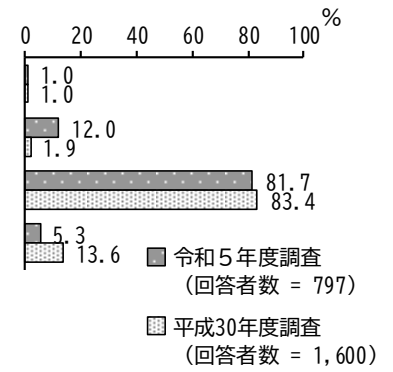
働いていなかった

取得した（取得中である）

取得していない

無回答

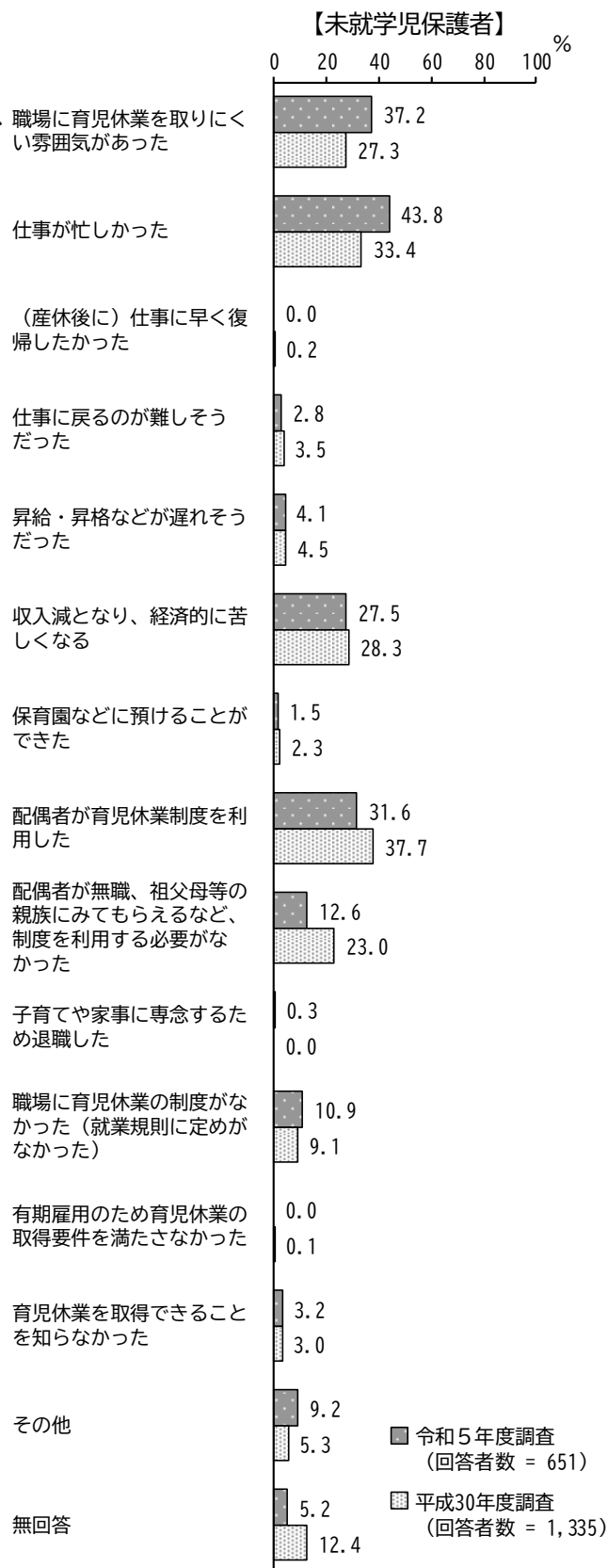
【未就学児保護者】



取得していない理由（下から当てはまる番号をすべて選んで記入してください）

未就学児保護者では、「仕事が忙しかった」の割合が43.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が37.2%、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が31.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が増加しています。一方、「配偶者が育児休業制度を利用した」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

※実際の復帰と希望が異なる方のみ

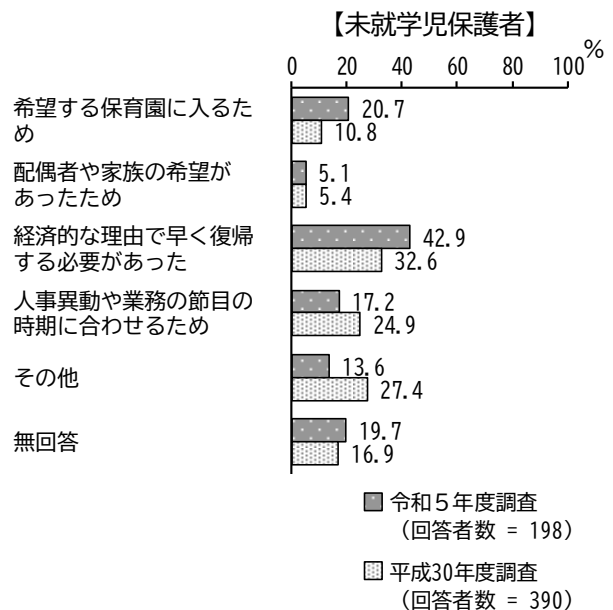
(未就学児保護者：問 29－7)

【「希望」より早く復帰した方】

(1) 母親

未就学児保護者では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「希望する保育園に入るため」の割合が 20.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 17.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育園に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が増加しています。一方、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。

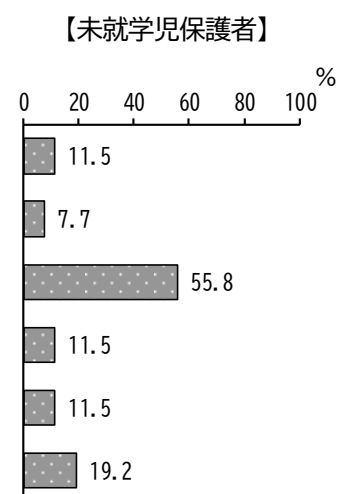


(2) 父親

未就学児保護者では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「希望する保育園に入るため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 11.5%となっています。

回答者数 = 52

希望する保育園に入るため
配偶者や家族の希望があったため
経済的な理由で早く復帰する必要があった
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
その他
無回答



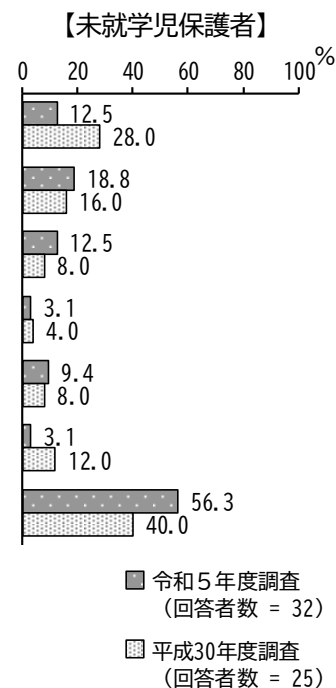
【「希望」より遅く復帰した方】

(1) 母親

未就学児保護者では、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」の割合が18.8%と最も高く、次いで「希望する保育園に入れなかったため」、「配偶者や家族の希望があったため」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育園に入れなかったため」の割合が減少しています。

希望する保育園に入れなかったため
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
配偶者や家族の希望があったため
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
子どもをみてくれる人がいなかったため
その他
無回答

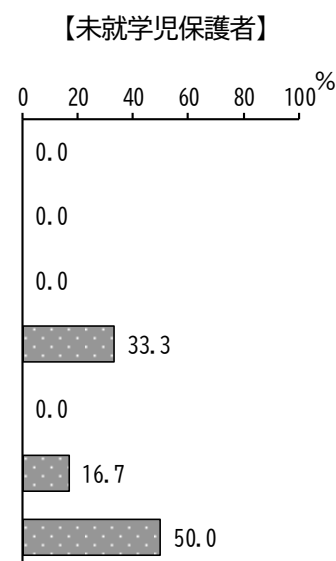


(2) 父親

未就学児保護者では、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が2件となっています。

回答者数 = 6

希望する保育園に入れなかったため
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
配偶者や家族の希望があったため
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
子どもをみてくれる人がいなかったため
その他
無回答



9 子育てに関する意識等について

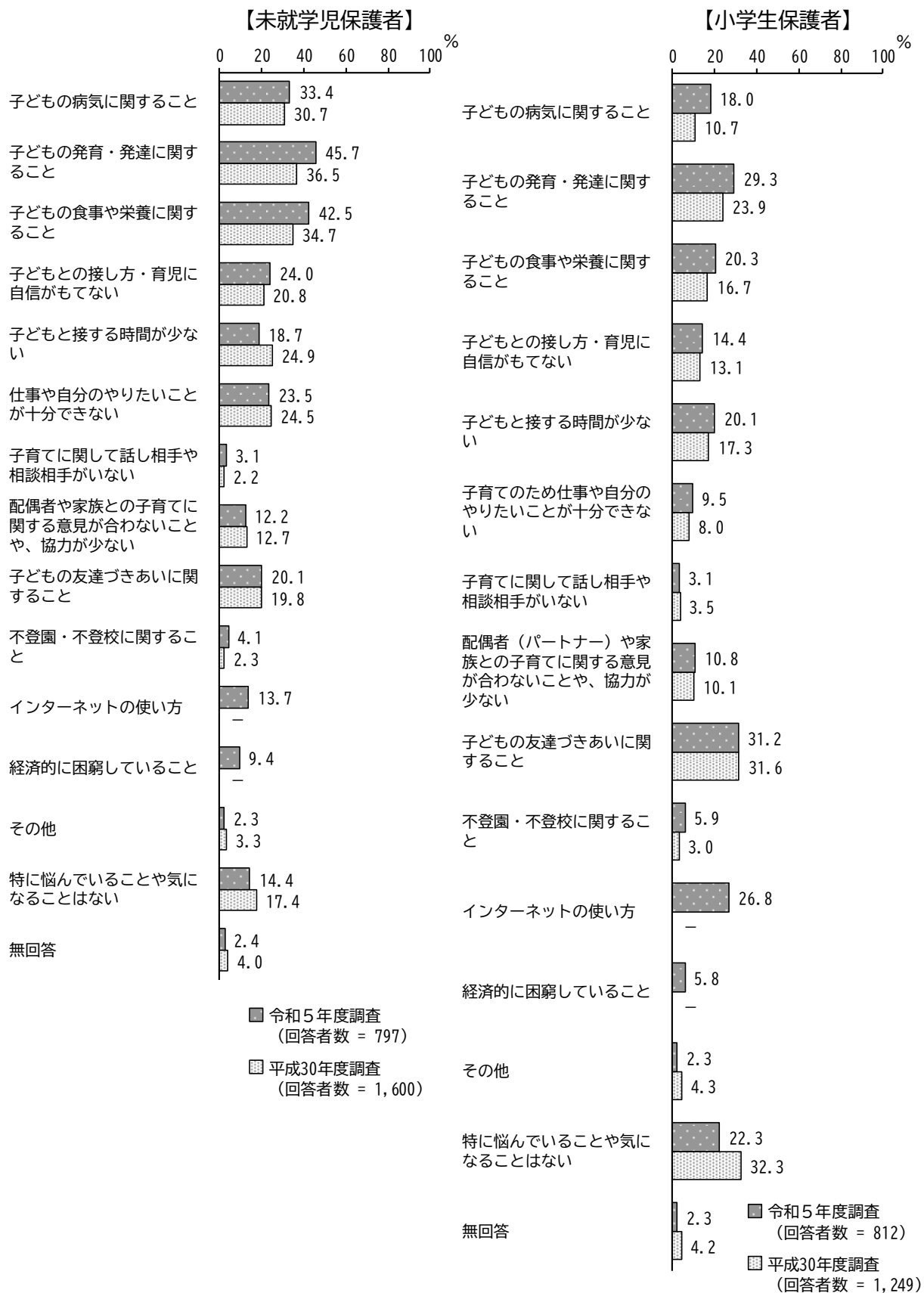
子育てについて、日頃悩んでいることや不安に思っていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(未就学児保護者：問 31、小学生保護者：問 22)

未就学児保護者では、「子どもの発育・発達に関すること」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」の割合が 42.5%、「子どもの病気に関すること」の割合が 33.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの発育・発達に関すること」「子どもの食事や栄養に関すること」の割合が増加しています。一方、「子どもと接する時間が少ない」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「子どもの友達づきあいに関すること」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「子どもの発育・発達に関すること」の割合が 29.3%、「インターネットの使い方」の割合が 26.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの病気に関すること」「子どもの発育・発達に関すること」の割合が増加しています。一方、「特に悩んでいることや気になることはない」の割合が減少しています。



※前回調査では、未就学児保護者、小学生保護者ともに「インターネットの使い方」「経済的に困窮していること」の選択肢はありませんでした。

お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。
(未就学児保護者：問 32)

未就学児保護者では、「普通」の割合が 37.1%
と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 33.6%、
「満足」の割合が 16.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「やや満足」の
割合が増加しています。一方、「普通」の割合が減
少しています。

